

2026年3月6日

## 都市ガス事業者として全国初の「認定高度保安実施事業者」認定を取得

東京ガスネットワーク株式会社

東京ガスネットワーク株式会社（社長：沢田 聡、以下「東京ガスネットワーク」）は、このたび、ガス事業法に基づき、経済産業大臣より「認定高度保安実施事業者」として認定されました。ガス事業法に基づく認定は、全国の都市ガス事業者として初の事例となります。

「認定高度保安実施事業者制度（以下、本制度）」は、テクノロジーを活用しつつ自立的に高度な保安を確保できる事業者を認定し、認定された事業者は、安全確保を前提に行政手続の簡略化や、リスクに応じたガス設備の検査時期の柔軟化等が可能になる制度です。今回の認定にあたっては、東京ガスネットワークの保安管理体制が、本制度の認定要件をすべて満たしていることが総合的に評価されました。

東京ガスネットワークは、都市ガス事業者として全国初の認定となったことを踏まえ、都市ガス業界のトップランナーとしてスマート保安<sup>\*1</sup>を強力に推進していきます。これまで築き上げた保安技術とテクノロジーを融合させ、人材不足等の社会課題解決に取り組むとともに、さらなる安心・安全の提供により、地域の皆さまの暮らしと社会を支え続けていきます。

東京ガスグループは創立 140 周年を迎えました。東京を越え、ガスを越え、未来を先取りする企業として挑戦を進めていきます。

### 【認定要件と東京ガスネットワークの主な取組み】

#### ①経営トップのコミットメント

安全を重要な経営課題と捉え、経営トップ自らが保安確保に主体的に関与しています。

- ・経営トップ主導により、保安確保の基本方針および重点実施事項等を定める「保安会議」を毎年度開催
- ・安全文化・風土の醸成に向け、経営トップと現場第一線社員との保安に関する直接対話を実施 等

#### ②高度なリスク管理体制

設備の経年劣化や自然災害リスクなどを踏まえ、体系的・計画的なリスク管理を実施しています。

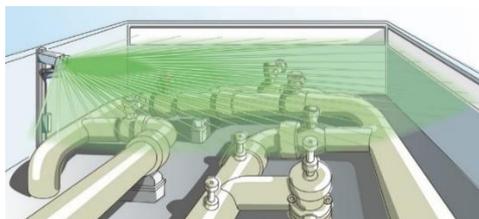
- ・各種ガス設備の維持管理に関する対策方針及びアクションプランを「保安マスタープラン」として策定
- ・リスク評価に基づく優先順位付けを行い、重要度の高い設備から着実に更新・補強対策を実施 等

#### ③テクノロジーの活用

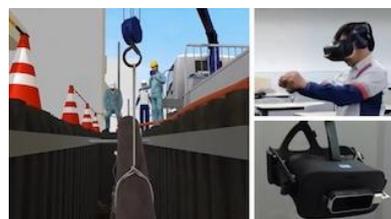
デジタル技術や先進技術を積極的に活用し、保安レベルの向上と業務効率化の両立を図っています。

- ・DX を活用した設備点検・保安業務の高度化および生産性向上
- ・VR を活用した社員教育、人材育成の取組み

(例) レーザー式メタン検知器によるガス漏洩遠隔監視技術



VR 教材を用いた危険体感による安全意識の向上



④サイバーセキュリティなど関連リスクへの対応

インフラ事業者として、設備リスクに加え、サイバーセキュリティ等の関連リスクにも対応しています。

- ・経営トップが主導し、組織全体でセキュリティ対策を推進するための体制を構築
- ・組織的なサイバーセキュリティ対策の維持・向上のため、継続的に従業員への教育・訓練を実施 等

\*1：産業保安分野におけるIoT、ビッグデータ・AI、ドローン等の活用を通じ、保安業務の高度化・効率化する取組み

以上